

伊豆急伊豆高原駅	バス9分	伊豆海洋公園	ゴール	蓮着寺	5分	まないた岩・奥の院	35分	いがい根	35分	とよ	55分	橋立て・つり橋	15分	八幡野漁港	30分	伊豆急伊豆高原駅	スタート	JR 伊東駅	電車25分
----------	------	--------	-----	-----	----	-----------	-----	------	-----	----	-----	---------	-----	-------	-----	----------	------	--------	-------

コース案内

溶岩台地の
自然探索

天城山系の溶岩
 が総延長15kmの雄大な**リニアス式海岸**。海岸は絶壁が連なり、岬から岬へと続く様は、溶岩と柱状節理と海の碧さのコントラストが壮観です。自然の美しさを保ち訪れる人に自然の驚異を教えています。
 海岸線は約9kmに及び、遊歩道が整備され、自然研究路として四季折々ハイカーで賑わいます。



城ヶ崎海岸では春から秋にかけて沖にはオオミズナギドリが上空にはアマツバメがよく見られ、また四季を通して伊東市の島であるイソヒヨドリやウミネコ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ等多くの野鳥が観察できます。



風波の侵食により城ヶ崎海岸はさまざまな様相を呈していますが、脚下に自然が自ら作り出したとさえ思われる石があります。古くから「橋がかり」と呼ばれてはいるのです。天竺山系の火山より流出した溶岩と風波の対決場所として珍しい自然現象の一つです。



城ヶ崎海岸一帯の岬には色々と変わった名前がついていますが、これは江戸時代から行なわれているボラ漁の漁師が名づけたものです。中には旅人がぼったくり倒れたから「ぼったり」、自然が造った石橋を「はしがかり」など、面白いですね。

大小さまざまな潮だまり
ゴハゼやイソギンチャク
間、タマキビ・カニ・ヤ
等の観察ができます。

蓮華寺の境内の自然林の中にはヤマモモが自生しています。自然の群生としては北限の地です。このヤマモモは樹木で樹高15m、根回り7.2m、枝張り東西22m南北17.7mで、根本から80cmのところで枝別れしています。ヤマモモの木としては静岡県下最大級の巨木です。



日蓮上人が「立正安国論」をあらわし、鎌倉幕府の怒りにふれて伊東への流罪を宣告された。小舟に乗せて送られてきた日蓮は、満潮時には波の下に沈んでよりまう岩の上に置き去りにされますが、危機一髪のところを川原の漁師に救われ難を逃れます。

日蓮は置き去りされた岩は、後に「まなべの岩」ともよばれるようになりました。近くに日蓮上人ゆかりの寺「蓮着寺」があります。この寺は後に当道を治めていた小田原北条氏の今川家から、日蓮ゆかりにちなんで招請を受けて、付近の



土地七十町歩を寄進したのが始まりです。広大な寺の境内には美しい自然林の中に日蓮上人ゆかりの袈裟かけの松や石喰いのモチの木等があります。ここから自然研究路、八幡野漁港まで約6キロ。ゆっくり歩いて3時間です。

最も良く観察できる場所として有名です。また長い間の波蝕により持ち去られた溶岩塊の跡は、あたかも名工が亀甲石を彫刻したような見事なもので。〔雨上がりの日には海に落ちる滝が見れるかも…。自然の造形の美しさをゆっくり観察しよう。〕



橋立て海のつり橋

自然の造形の美しいこの橋立てと、対面のじょうせんが根につり橋があります。この吊り橋は、橋の上からの眺望に富み、大自然の厳しい様相が美しさといまわって、このコース一番の景観を見せています。橋の長さは60m、高さは16mです。

(昭和46年5月完成)



大淀・小淀

眼下の岩壁にある大小の汐留石は昔から大淀・小淀と呼べられていました。自然が造形した天与のプールとして地元の人々に親しまれています。汐留石の中には磯に住む小魚、貝等水辺の小動物が多く、じっくりと観察も出来ます。

階段を降り手前の亀甲状石に立って、さいつんの岬を眺めると柱状節理の岩壁が良く観察できます。また前方の「前島の島」は五角柱を組み合わせたような波紋の美しい姿を見せています。海岸に降りるとき注意してください。